

日本内部監査協会 会長賞を受賞

2009年9月28日

あいおい損害保険株式会社（社長 児玉 正之）は、本日、各業界の代表的企業を含む約4,000の会員から構成され、内部監査の普及・啓発に向けた活動をすすめている社団法人日本内部監査協会（会長 伏屋 和彦氏）から、第23回会長賞（内部監査優秀実践賞）を受賞しました。

会長賞は、「協会会員であって、内部監査が制度的に充実し、かつ長期にわたり内部監査活動が継続して積極的に行われ、成果をあげ、内部監査の普及・発展に貢献している企業・経営組織体を表彰するもの」とされております。

当社は、お客様満足度の向上に向けて、IOI（あいおい）品質向上活動など各種の取り組みを推進するとともに、これらのプロセスを自主的に監視・チェックする「内部監査」についても、次のような態勢強化・実践を図ってきました。

- ① 内部監査部門の体制強化と独立性の確保
- ② 経営上の重要課題に即応した監査の実施
- ③ 監査対象部門との双方向のコミュニケーション
- ④ 監査品質の向上に向けた人材育成

今回の受賞は、当社のこうした総合的な取り組みが、日本内部監査協会の審査委員会（委員長 檜田 信男氏（LEC 東京リーガルマインド大学副学長・大学院教授、中央大学名誉教授 商学博士））の審査を通じ、会長賞の授賞にふさわしいと評価され、損害保険会社として初の受賞に至ったものであります。

当社は今後も、品質向上活動の取り組みや収益力の強化に加え、コンプライアンスやリスク管理態勢の確立、CSR経営の実践を通じて、「地域・お客様に一番身近で、お客様にご満足を提供できる保険会社」の実現に取り組んでまいります。

以上